

地 方 啓 發 座 談 會

本社主催第一回座談會は別項記載の如き地方啓發の爲め最も有意義でした。第二回第三回ご會を重る毎に益々權威あるものとなることでしょう。其れで第二回は本月中旬に開催致します題目は電燈問題、町費輕減方法其他ですが是れは第一回座談會席上にて出席諸君の提案です何卒御研究の上振つて御參會を希望致します

登記取消の對策

笑ふに堪へたる朝日の記事
申請人中賢者は早くも悟る

（去）
東京朝日新聞福島版に
一十五日、然も二段抜き標題で『事務所登記』で又もこの
題で『石城民政派の兩派』として左の如き記事が掲載
されたのである。
石城郡民政部會の若松、野崎兩派のあつれきは益々
々深刻となり部會事務所の建物を中心として又も
血で血を洗ふやうな醜態を暴露した即ち若松派では事務所の建物で今日ま
で保有登記して居なかつたため自派の幹部三十二名を代表名義人として保
存した所一人の代表者も舉げられなかつた野崎一派が憤慨し刑事問題にせ
ど驕いである右に付保
民事訴訟法には

評價額ニ基キ債務者ノ其
競賣価額ノ其本物全額
決議選出
名有權者に付キ之ヲ定ムベシ
分ニ付キ之ヲ定ムベシ
規定しあり故に石城民政
俱衆部建設物の共有權を持
金五十圓三十錢たけは伊
財ある者は債務者の爲め
貢の浮目を見る事になるの
であるからら所有權の異
は免れぬものである而して
三十二名の申請は不實の
記なることは建設當時の
情に依つて明かで共筋へ
附認可申請人にして建築
表者たる織畑元吉氏は今
迄創立の経過報告もせざ
以上隨て所有權は全民に在
ると見もの如く確然と所
有する法人な折柄勝手に
共同所有權を登記によ
に付發生したことは何として

長の責任や如何に町會の問題こならん。

自利慾を逞しく露呈したものが、攻勢をとつた久之濱組が自分の方に不始末があることを發見され、之に攻撃を加ふと譲歩妥協しておまかは我欲の爲めの籠へと折紙を封けての和解は磐城人土の心理狀態をよく物語るるものである。令あれたけの芝居役者に對し来るべきを演出した平町役場の町會が如何なる態度を見るかが見物である。

一、横暴なる東部電力會社
を糾弾しませう
一、平町會議員の電燈水道
問題に對する專横振りを
糾弾しませう
一、三百代言を根絶しませ
う
一、醫者は仁術の昔に歸
而して貪者を優遇せよ
一、クスリは藥劑師診察は
醫師
一、醫者の不應招聘罪を嚴
罰せよ
一、醫者の車賃は醫者負擔
させよ
一、醫者の藥價、往診料其
他を半減値下せよ
一、失業救濟を即時せよ
一、處方箋料を徹廢せよ
一、處方箋料は診斷行爲に
包含せるものにて醫者は
自分勝手に右料金を徵收
し居るは診察に對する報
酬の二重取りにして他國
には前例ありません

ロロニアレロ
鉢木傳明
田中綱代
進軍
△進軍の唄
断然ノローマ界を
リードせる好
各會社ノロード新譜
品質聲價共に拔群
磐城セメント
利洋銅鐵
金物問屋
磐城半町五丁




東西雜感

一、横暴なる東部電力會社 を糾弾しませう	
一、平町會議員の電燈水道 問題に對する専横振るを	
一、三百代言を根絶しませ う	
一、醫者は仁術の昔に歸れ 而して貧者を優遇せよ	
一、クスリは藥劑師診察は 醫師	
一、醫者の不應招聘罪を嚴 罰せよ	
一、醫者の車賃は醫者負擔 させよ	
一、醫者の藥價、往診料其 他を半減値下せよ	
一、失業救濟を即時せよ	
一、處方箋料を徹廢せよ	
一、處方箋料は診斷行為に 包含せるものにて醫者は 自分勝手に右料金を徵收 し居るは診察に對する報 酬の二重取りにして他國 には前例ありません	
品質聲價共に拔群の 磐城セメント會社特約店	
利洋銅鐵	
金物問屋	
磐城平町五丁目 電話九番。一三九番	
常盤屋時計店	
電話三三九番	
平臺	
田中綱代吹込	
進軍の唄	
断然レコード界を リードせる好吹込	
各會社レコード新譜取扱 賣	

務任と使命

本然の使命と任務とに善處すべき二十名の町議諸君、大平町建設への大計は眞に彈力あり生
命ある町是の確立、具体方策の具顯を講じられつつあるならん其の抱持せる經綸を我等民衆
は拜聽したもし是れ諸君を議員たらしめし投票權行使者の權利なりと確信すればなり

平三万町民の信託者たる町會議員諸君に問ふ

我平時の現勢には痛感するものがある。共同の憂惧として經濟破綻の危機をさい覺ゑしめつゝあるではないか。然るに爲政當局の施すところは徒らに形而的仕事の末節に拘泥し議員又これに權威なしとすれば町民が議員の選出を諱つたことに基因するを以てその責任の一半は町民自ら負はざるべからず。然れど我等は我等の町議諸君は言行一致の行動をなし得る人材にして手腕家常に情實に左右さる、ものに非らずと信じ寧日町民共同の利害を攻究し公益を圖り利慾に惑はず犠牲奉仕の精神を發揮し町民の爲め貢献すべく信賴するものである斯く熱誠公事に盡瘁し正義の準繩に依つて終始する名譽議の行進興隆を企畫すべき將來の定見を聞く

議員各位の御意見は到着順に之を本紙上に發表す

伏見平町長に呈する書

大和田與平

果して希望念願なり
下が過般助役増俸提案

を通じて思ふの時、
的行動として完璧と

得ざるを遺憾とする
である。

伏見町長足下
さちかがんしや

知り他に志す處ある
ことを信するもまかせ

縁故を擁して足下の事を遮るものなきを保

眠れる役場内吏員の監視
更迭を要望するもの

其他衛生工事に従事する。

目標たらしむことは、

木の木子に我れ
あがた われ
に物語るもので我等
あがた われど
さきかんわい
直簡明ニ云へば新ら

直簡明に云へば期を
の引退を要求し若し是

をして断行し得ざる
れば足下の勇退ゆうたいまで

卷之三

卷之三

大平町建設への大計は眞に彈力あり生
のるならん其の抱持せる經綸を我等民衆
の權利なりと確信すればなり

同會議員諸君に問ふ

綻の危機をさい覺ゑしめつゝあるではないか然る
又これに權威なしとすれば町民が議員の選出を誤
からず然れ共我等は我等の町議諸君は言行一致の
非らずと信じ寧日町民共同の利害を攻究し公益を
信頼するものである斯く熱誠公事に盡瘁し正義の
を聞く

社業實之城磐

論公題

